

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-065442

(43)Date of publication of application : 05.03.2002

(51)Int.Cl. A47G 23/08
G09F 27/00

(21)Application number : 2000-257407

(71)Applicant : KURA CORPORATION:KK

(22)Date of filing : 28.08.2000

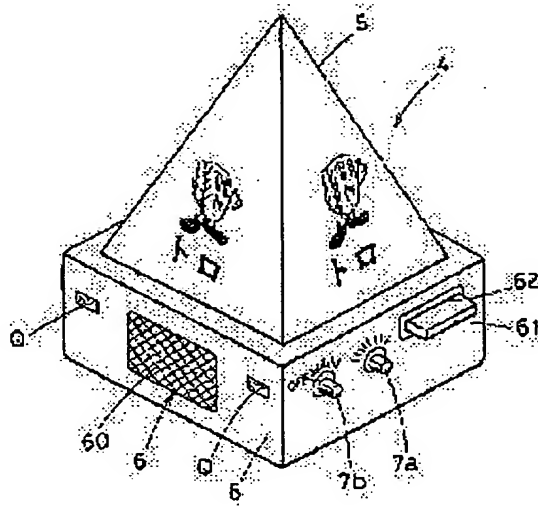
(72)Inventor : TANAKA KUNIIHIKO

(54) FOOD AND DRINK GUIDE DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To timely notify customers what food is coming on a turning conveyor in a self-service restaurant.

SOLUTION: A device put on a conveyor, makes customers notice foods and drinks carried on the turning conveyor. The device is composed of a display unit 5 that shows what the food is coming and a speaker unit 8 that makes an audio guidance on the food recorded in a memory card 61.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

【添付書類】



刊行物2

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-65442

(P2002-65442A)

(43)公開日 平成14年3月5日(2002.3.5)

(51)Int.Cl.

識別記号

F1

フィールド(参考)

A47G 23/08

A47G 23/08

Z 3B115

G09F 27/00

G09F 27/00

Z

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全6頁)

(21)出願番号

特願2000-257407(P2000-257407)

(71)出願人 S88011174

株式会社くらコーポレーション

大阪府堺市深阪1035番地の2

(22)出願日

平成12年8月28日(2000.8.28)

(72)発明者

田中 邦彦

大阪府堺市深阪1035番地の2 株式会社くら

コーポレーション内

(74)代理人

100075406

弁理士 杉本 勝徳 (外1名)

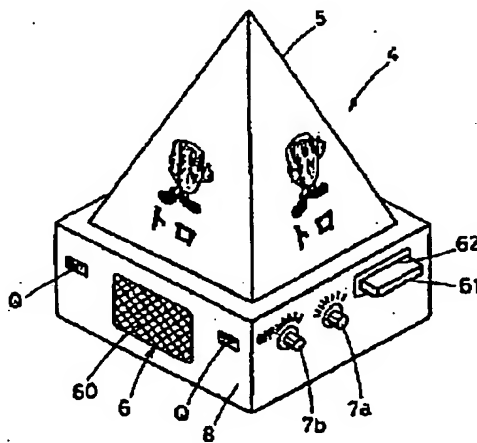
Fターム(参考) 3B115 AA17 AA22 AA23 DD04 DC16
DC18

(54)【発明の名称】 飲食物案内装置

(57)【要約】

【課題】 循環搬送路上の飲食物を顧客に的確に知らせることの出来る飲食物案内装置を提供する。

【解決手段】 搬送装置の循環搬送路上に載せて、循環搬送路を介して循環搬送される飲食物を顧客に案内するための飲食物案内装置に、案内する飲食物が表示された商品表示部と、商品表示部に表示する飲食物を音声で案内するための音声案内部とを備え、音声案内部による音声案内を、飲食物を案内する音声を記録した記録媒体により行なうようにした。



(2)

特開2002-65442

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】搬送装置の循環搬送路上に載せて、循環搬送路を介して循環搬送される飲食物を顧客に案内するための飲食物案内装置であって、

案内する飲食物が表示された商品表示部と、商品表示部に表示する飲食物を音声で案内するための音声案内部とを備えていることを特徴とする飲食物案内装置。

【請求項2】音声案内部による音声案内を、飲食物を案内する音声を記録した記録媒体により行なうようにしている請求項1に記載の飲食物案内装置。

【請求項3】音声案内部による音声案内の間隔とその音量の少なくともいずれか一方を調整するための調整手段を備えている請求項1または2に記載の飲食物案内装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、飲食店、特に寿司店などにおいて、例えば皿に盛り合わせた寿司を搬送装置の循環搬送路上に載せて循環搬送し、顧客が好みの寿司を循環搬送路から取り出して自由に食するようにした店舗で用いる飲食物案内装置に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、店内に多数配置されるテーブルやカウンターに沿って循環する循環搬送路を備えた搬送装置を設置した寿司店では、調理人が、厨房室内にてシャリ玉上に寿司ネタを載せて握り、出来上がった寿司を皿上に載せた上で搬送装置の循環搬送路上に移し替え、該搬送装置により客室の各テーブルに順次搬送する一方、顧客は、前記搬送装置により順次送られてくる複数種類の寿司を好みに応じて循環搬送路から任意取り出して、適宜、食するようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、以上の搬送装置においては、前記したように、調理人が寿司などの飲食物を盛った皿を前記循環搬送路に随時供給するようにしているが、従来の搬送装置では、循環搬送路上に置かれている飲食物が常に循環移動しているので、顧客は搬送路を流れる飲食物の種類を常に注意しなければならず、場合によっては所望の飲食物を取り損ねる不具合もある。

【0004】本発明は以上の事情に鑑みて開発したものであって、目的とするところは、循環搬送路上の飲食物を顧客に的確に知らせることの出来る飲食物案内装置を提供するにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】以上の目的を達成するために、請求項1記載の発明は、搬送装置の循環搬送路上に載せて、循環搬送路を介して循環搬送される飲食物を顧客に案内するための飲食物案内装置に、案内する飲食物が表示された商品表示部と、商品表示部に表示する飲

2

食物を音声で案内するための音声案内部とを備えたことを特徴とするものである。

【0006】請求項2記載の発明は、請求項1に記載の飲食物案内装置において、音声案内部による音声案内を、飲食物を案内する音声を記録した記録媒体により行なうようにしたのである。

【0007】請求項3記載の発明は、請求項1または2に記載の飲食物案内装置において、音声案内部による音声案内の間隔とその音量の少なくともいずれか一方を調整するための調整手段を備えたのである。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明にかかる飲食物案内装置の実施形態を図面を参照しながら説明する。

【0009】先ず図2は、厨房室S1と客室S2に設置するカウンターテーブル1a及び複数の脚付きテーブル1bと、前記厨房室S1の前面乃至各テーブル1a・1bに沿って配置した仕切ハウジング2と、仕切ハウジング2上に周回状に設けられて、厨房室S1内で皿Pに盛り合わされた寿司を各テーブル1a・1bに搬送するための循環搬送路3とを備えた飲食物搬送装置を設けてなる寿司店舗内を平面的に表したものである。

【0010】仕切ハウジング2は、図3に示すように、所定間隔開けて相対向する側壁21・22と、これら両側壁21・22の上端及び下端を結ぶ上壁23及び底壁24（図示せず）とから断面ボックス状に形成されたものであって、前記厨房室S1の全面に沿って配設されて該厨房室S1と客室S2とを区画する第1ハウジング部2aと、該第1ハウジング部2aの長手方向両端から屈曲して前記客室S2内に平行に延びる第2、第3ハウジング部2b・2cとから成り、前記第2、第3ハウジング部2b・2cにおける側壁21・22の外側方には、前記したカウンターテーブル1aと、脚付きテーブル1bとを配置している。

【0011】飲食物搬送装置を構成する前記循環搬送路3は、前記各ハウジング部2a・2b・2cの上壁23に設けた凹所31と、該凹所31の幅方向両側に設けられた案内壁32に案内されながら前記凹所31内をモータ駆動により循環移動する無端状のフラットチェーン33とを備え、図3にも示すように、循環搬送路3のフラットチェーン33上に、例えば寿司などの飲食物を盛った皿Pを載せて循環搬送するようにしている。

【0012】本発明にかかる飲食物案内装置は、以上の搬送装置の循環搬送路3上に載せて、循環搬送路3を介して循環搬送される飲食物を顧客に案内するためのものであって、図において符号4で示す飲食物案内装置は、基本的には、案内する飲食物が表示された商品表示部5と、商品表示部5に表示する飲食物を音声で案内するための音声案内部6と、音声案内部6による音声案内の間隔並びにその音量をそれぞれ調整するための調整手段としての調整つまみ7a・7bと、これら商品表示部5や

(3)

特開2002-85442

3

音声案内部6を搭載するためのケーシング8とを備えている。

【0013】具体的には、循環搬送路3のフラットチェーン33上に搭載可能な直方体からなるケーシング8を備え、このケーシング8の上面に商品表示部5を搭載可能とすると共に、ケーシング8の前面には、音声案内部6を構成するスピーカー60を組み込んでいる。またケーシング8の側面には、飲食物を案内する音声を手配録した記録媒体としてのメモリーカード61の装着口62と、スピーカー60から流れる音声案内の間隔を調整するための調整つまみ7a及びその音量を調整するための調整つまみ7bとをそれぞれ組み込んでいる。

【0014】尚、音量調整用の調整つまみ7bは、電源のオン、オフをも行なえるようにしている。

【0015】またケーシング8内には、メモリーカード61の記録情報に基づいて音声案内部6を制御するためのマイクロコンピュータから成るコントローラ63と、このコントローラ63の電源となるバッテリー（図示せず）を搭載している。

【0016】尚、メモリーカード61には、例えば「本日、紀州勝浦漁港から直送のトロです。」の音声を手配記録しておくのである。

【0017】また図に示す商品表示部5は、循環搬送路3上に載せる寿司の各種類に対応するものを別途形成しておくのであって、この商品表示部5は、例えばトロ、イカ、ハマチなどの寿司の種類を示す文字及びイラストを記載した四角筐体のディスプレイを用いている。

【0018】また前述の寿司が盛られる皿P及び飲食物案内装置4のケーシング8には、各皿P及び各飲食物案内装置4を特定するための識別マークとして、QRコードを印刷したシールQを貼り付けている。

【0019】尚、シールに印刷する識別コードとして、前述のQRコードの外、例えばバーコードを印刷してもよい。

【0020】また前記した飲食物搬送装置には、循環搬送路3上に置かれた飲食物案内装置4により案内される飲食物の種類及びこの飲食物案内装置4に続いて循環搬送路3上に搭載される飲食物の数を検出する飲食物検出手段11と、循環搬送路3上の飲食物案内装置4に続いて搭載する飲食物の適正個数を設定する適正個数設定手段12と、飲食物検出手段11からの出力信号に基づいて、循環搬送路3上の各飲食物の個数が、適正個数設定手段12で設定された適正個数であるか否かを判定する個数判定手段13と、個数判定手段13での判定により、循環搬送路3上の各飲食物の個数が、適正個数設定手段12で設定された適正個数よりも少ない場合には、その飲食物の種類と不足数を表示する表示手段14とを設けている。

【0021】即ち、図に示す実施形態では、飲食物検出手段11をレーザー式のスキャナー11a・11bから

4

構成して、該スキャナー11a・11bにより、飲食物案内装置4並びに飲食物を盛る皿Pにそれぞれ貼り付けたシールQの識別マークを読み取るようにしているので、図に示す実施形態では、このスキャナー11a・11bを第2ハウジング部2bと第2ハウジング部2cの2箇所に設けている。

【0022】一方、個数判定手段13は、飲食物搬送装置の駆動を制御するためのコンピュータから構成された制御装置15のプログラム上に構築する一方、制御装置15の入力側に接続したキーボード16を、適正個数設定手段12として用い、循環搬送路3上の飲食物案内装置4に続いて搭載する飲食物の適正個数を、前記キーボード16のキー操作により制御装置15に入力するようにしている。

【0023】具体的には、制御装置15の記憶部15aに、例えば顧客の人数が多い時の各寿司の適正個数と顧客が少ない時の各寿司の適正個数を記憶させておき、キーボード16のキー操作により、顧客の人数に合わせて、飲食物案内装置4に続いて循環搬送路3上に載せる寿司皿の適正個数を制御装置15の記憶部15aから選択するようにしている。

【0024】尚、各種類の寿司の適正個数は、キーボード16のキー操作により個別に設定するようにしてもよい。

【0025】また図に示す表示手段14は、CRT若しくは液晶を用いたモニター14aから成り、このモニター14aを厨房室S1内に設置して、制御装置15の出力側に接続している。

【0026】以上の構成からなる飲食物搬送装置は、予め、飲食物案内装置4のケーシング8に貼り付けたシールの識別マークをスキャナー11a・11bで読み取って、その情報を、飲食物案内装置4の商品表示部5に表示されている寿司の種類と共に制御装置15の記憶部15aに記憶させておく。

【0027】また飲食物案内装置4におけるケーシング8の装着口62には、商品表示部5に表示された飲食物を案内する音声を手配記録させたメモリーカード61を装着しておく。

【0028】そして以上の飲食物搬送装置により、寿司を客室S2の各テーブルに搬送する場合、先ずキーボード16のキー操作により、各飲食物案内装置4に続いて循環搬送路3上に載せる寿司皿Pの適正個数を制御装置15に入力するのであって、例えば顧客の人数が多い時には、制御装置15のプログラム上に設定した適正個数中、顧客の人数が多い時の適正個数を選択する一方、顧客の人数が少ない時には、制御装置15の記憶部15aに設定した適正個数中、図5に示す顧客の人数が少ない時の適正個数を選択した上で、循環搬送路3上に置かれた飲食物案内装置4に続いて、その飲食物案内装置4が示す種類の寿司皿Pを、設定した個数だけ循環搬送路3

(4)

特開2002-65442

5

6

上に載せるのである。

【0029】そして循環搬送路3上に供給された寿司は、飲食物案内装置4と共に客室S2内の各テーブル1a・1bに循環搬送されるのであって、搬送途中において、商品表示部5による視覚的な表示と同時に、音声案内部6を構成するスピーカー80から、商品を案内する音声の定期的な流されて、各テーブルの顧客に特定の飲食物が近づいて来たことを順次知らせるのである。

【0030】従って各テーブルの顧客は、循環搬送路3を流れる飲食物を目で追っていないとしても、所望の飲食物が来たことを的確に知ることが出来るのである。

【0031】尚、スピーカー80から流れる音声の音量や間隔は、調整つまみ7a・7bの調整により自由に調整することが出来るので、店舗に応じて任意調整するのが好ましい。

【0032】一方、各テーブル1a・1bの客は、好みの寿司が載った皿Pを循環搬送路3から適宜取り出して食する一方、取り出されない皿Pは循環搬送路3を周回するのである。

【0033】そして、各スキナー11a・11bでは、循環搬送路3上を流れる各皿の識別マークを順次読取って、制御装置15にその情報を出力する一方、制御装置15では、記憶部15aに記憶している各飲食物搬送装置4の識別マークと比較して、各飲食物搬送装置4を認識すると共に、その飲食物搬送装置4に続いて置かれている皿Pの数をカウントして、その数が設定された個数よりも少なくなっている時には、モニター14aの画面上に、不足している寿司の種類名とその不足数が表示されるのである。

【0034】新しくして、厨房S1内の調理人は、モニター14aに表示されている所定のネタの寿司、即ち図6に示す画面では、トロとハマチの寿司をそれぞれ2皿分握って皿Pに載せて、トロの飲食物案内装置4が厨房室側に来た時点で、トロを飲食物案内装置4の後方の空きスペースに、またハマチの飲食物案内装置4が厨房室側に来た時点で、ハマチを飲食物案内装置4の後方の空きスペースにそれぞれ載せた後、キーボード16の操作により、モニターの表示をクリアすればよいのであって、検査すれば、調理人はモニターを見るだけで、不足している寿司の種類とその個数が即座に判るので、モニターに表示されている表示に従って順次寿司を用意すればよいのである。

【0035】以上の実施形態では、飲食物を案内する音声を予め記録した記録媒体としてのメモリーカード61を別途容易して、このメモリーカード61を、ケーシング8の側面に設けた装着口62に装着するようにしたが、これに限定されるものではなく、コントローラ63の記憶部に、飲食物を案内する音声を予め記録させてもよいし、あるいはテーブルレコーダーをケーシング8内に搭載して、このテーブルレコーダーをコントローラ63に

より制御するようにして、適宜このテーブルレコーダーのテープに飲食物を案内する音声を吹き込むようにしてもよい。

【0036】また以上の実施形態では、商品表示部5として、寿司の種類を示す文字及びイラストを記載した四角柱状のディスプレイを用いたが、これに限定されるものではなく、例えば見本の寿司を盛った皿Pを商品表示部5として用い、この皿をケーシング8の上面に搭載してもよい。

【0037】は、循環搬送路3上に載せる寿司の各種類に対応するものを別途形成しておくのであって、この商品表示部5は、例えばトロ、イカ、ハマチなどの寿司の種類を示す文字及びイラストを記載した四角柱状のディスプレイを用いている。

【0038】

【発明の効果】以上のごとく、請求項1記載の発明によれば、搬送装置の循環搬送路上に載せて、循環搬送路を介して循環搬送される飲食物を顧客に案内するための飲食物案内装置に、案内する飲食物が表示された商品表示部と、商品表示部に表示する飲食物を音声で案内するための音声案内部とを備えたことにより、循環搬送路上の飲食物を顧客に音声にて知らせることが出来るので、顧客は、搬送路を流れる飲食物を目で追っていないとしても、所望の飲食物が来たことを的確に知ることが出来るに至ったのである。

【0039】請求項2記載の発明によれば、請求項1に記載の飲食物案内装置において、音声案内部による音声案内を、飲食物を案内する音声を記録した記録媒体により行なうようにしたことにより、請求項1に記載の発明の効果に加え、記録媒体の交換するだけで、例えば案内する飲食物の種類等を容易に変更することが出来る。

【0040】請求項3記載の発明によれば、請求項1または2に記載の飲食物案内装置において、音声案内部による音声案内の間隔とその音量の少なくともいずれか一方を調整するための調整手段を備えたことにより、請求項1または2記載の発明の効果に加え、顧客に対する音声での商品案内の大きさなどを、店舗にあわせて自由に調整することが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる飲食物案内装置の斜視図。

【図2】本発明にかかる飲食物案内装置が搭載可能な飲食物搬送装置を設けた店舗内の概略平面図。

【図3】同、要部の拡大断面図。

【図4】循環搬送路に供給された表示体と寿司皿の状態の説明図。

【図5】飲食物案内装置の構成図。

【図6】飲食物搬送装置の構成図。

【符号の説明】

3 循環搬送路
4 飲食物案内装置

50

(5)

特開2002-65442

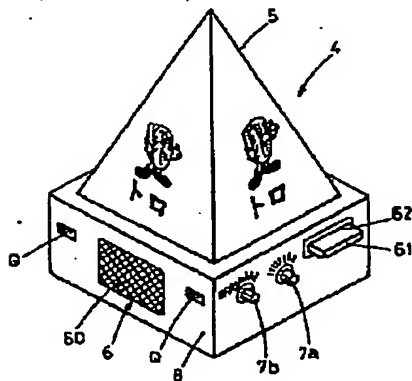
8

5 商品表示部
6 音声案内部

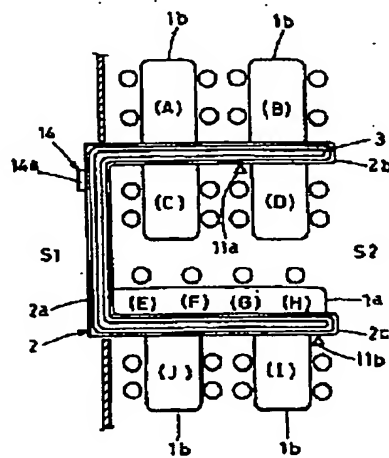
* B1 メモリーカード (記録媒体)

* 7a・7b 調整つまみ (調整手段)

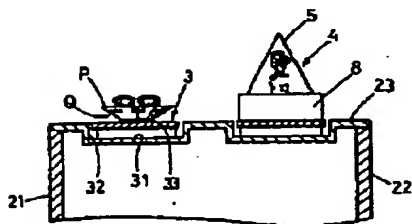
【図1】



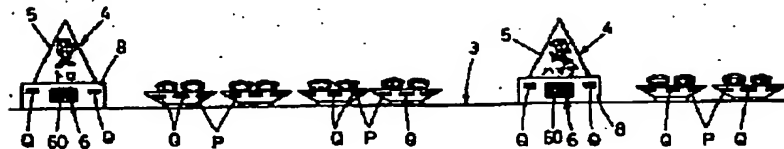
【図2】



【図3】



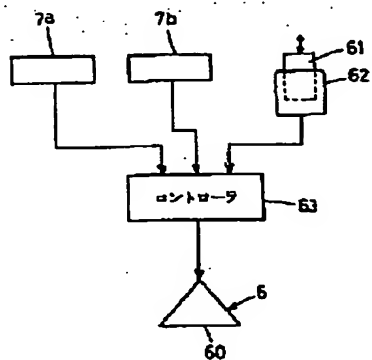
【図4】



(6)

特開2002-05442

【図5】



【図6】

